

看護師のワーク・ライフ・バランス実現に向けた看護師長のコンピテンシーに関する研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2018-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 小百合 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003350

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 12 号

看護師のワーク・ライフ・バランス実現に向けた看護師長のコンピテンシーに関する研究

(A study on the competency of the head nurses in realization of work-life balance among nurses)

鈴木 小百合 (すずき さゆり)

博士 (看護学)

論文審査結果の要旨

本研究の目的は、看護師の WLB 実現に向けた看護師長のコンピテンシーを明らかにするとともに、看護師の WLB 実現に向けた看護師長のコンピテンシー評価尺度を作成し、信頼性と妥当性を検証することであった。

コンピテンシーを明らかにするために、看護管理にインタビュー調査を行い、看護師の WLB 実現に向けた看護管理者の認識と実践を明らかにした。次に、インタビュー結果および文献検討に基づくコンピテンシーの構成概念の明確化、コンピテンシーを構成する質問項目の作成、質問項目と概念の合致と吟味を経て尺度を作成し、調査によって、尺度の信頼性と妥当性を検討した。

最終的に【組織目標の明確化とキャリア支援】【ビジョンの共有】【個の能力を活かした運営管理】【看護実践における問題解決行動】【WLB 支援制度の理解の推進】【休暇取得の透明性・公平性確保】【中間管理職としての責任ある行動】【対人関係構築の基盤となる柔軟性】からなる 8 因子 38 項目の尺度が構成された。尺度全体および因子別の Cronbach の α 係数が 0.70 以上で、内的整合性が確保された尺度であると示された。今後、尺度の基準関連妥当性を検討することが望まれる。

本論文の特徴は、看護前の WLB 実現に向けた支援をする看護師長のコンピテンシーに着目して評価尺度を開発し、信頼性と妥当性を検証したことである。これにより、看護師の WLB 実現に向けた看護師長のコンピテンシーを初めて明らかにした意義ある論文であると考えられる。本論文は、臨床で働く看護師が働きやすい職場の実現のために活用したり、今後の看護学の発展に寄与するものと期待できる。以上のことから、本研究は博士(看護学)の学位を授与するに値するものと判定した。